

自主臨床研究

血液腫瘍・免疫グループ

MLL再構成陽性乳児急性リンパ性白血病に対する クロファラビン併用化学療法の有効性と安全性の検討をする 多施設共同第II相試験およびMLL再構成陰性乳児急性リンパ性白血病 に対する探索的研究（JPLSG-MLL-17）

研究の対象

診断時日齢が365日以下のB細胞性急性リンパ性白血病初発診断症例

研究目的・方法

生後365日以下に発症する乳児急性リンパ性白血病（ALL）のうち、早期再発が多く予後不良なKMT2A（MLL）遺伝子再構成陽性ALL（MLL-rALL）を対象に、国際標準治療であるInterfant型化学療法を基本骨格としたクロファラビン（CLO）併用化学療法を導入し、その有効性と安全性を評価する。MLL遺伝子再構成陰性ALL（MLL-gALL）は、MLL96/98を踏襲した先行臨床試験MLL-10を基本骨格とした化学療法に、維持療法の減量を試み入院期間の短縮や免疫能の早期回復などを期待する。一方で有効性が低減しないことを確認する。

プライバシーの保護

登録患者の氏名は参加施設からデータセンター等に知らされることはない。

お問い合わせ先

大阪大学病院小児科
宮村能子